

患者さんにも、一緒に働くスタッフにも大切なのは『思いやり』



PROFILE

株式会社 強者

院長

竹原 和宏 先生
(たけはら かずひろ)

柔道整復師・鍼灸師

関東の整骨院で経験を積み、地元札幌へ戻り株式会社強者に入社。現在、グループのさらなる発展のためスタッフへの技術指導を行い、複数店舗をまとめる総院長として活動。また施術者としても現場に出て患者さんとのコミュニケーションを大切にしている。29歳。

伊澤泰子 先生

セラピスト。大手リラクゼーション会社から多角的な治療の道を目指して北海道鍼灸専門学校に在籍中。

PROFILE

株式会社 強者

セントラル琴似整骨院

院長

中村 勇太 (なかむら ゆうた) 先生

柔道整復師 北海道ハイテクノロジー専門学校 柔整科卒業。路面店整骨院勤務を経てスポーツクラブ内整骨院院長として運動愛好家のサポートに携わる。痛み・つらさの根本改善の為、全身のバランスを整えることにより身体の機能向上を目指した施術概念で運営に取り組む。27歳。

特集

北海道

JR札幌駅から電車で約5分の琴似駅。駅前の商業施設で営業するフィットネスクラブ内に併設された『セントラル琴似整骨院』を取材した。クラブインという立地もあり、患者層は（他の路面店に比べると）『やはりぐっと若くなっている』という。『運動の前後に来院されるケースが多いですね。運動前という場合では、筋肉をほぐして関節可動域を十分に広げた上で運動していくだけるように調整します。また、運動中の怪我で来院されるケースも少なくないですね。（継続的に）運動されてもカラダ自体が硬い方は多くて、そのまま運動して腕や膝など関節を痛めてしまうんです。』最終受付が21時ということもあり、遅い時間帯や週末にはフィットネス会員以外の方の来院も多いう。

『まだまだ新米院長です』と屈託のない笑顔で話すのは今年4月に就任したという中村院長27歳。院長はじめスタッフ全員が20代というフレッシュなメンバーの治療院だがそのパワーは単なる若さだけではない。週に2回、閉店後の勉強会は当たり前。21時最終受付後に始める勉強会。『終電まで、と思つていただければ（笑）』『いつもダッシュで帰ります！』と元気いっぱいだ。『理論をじっくり学ぶと患者さんにもきちんと説明ができるようになります。大御所みたいなベテランの大先生がいるわけではないので、しっかりと勉強して丁寧な施術で患者さんと向き合つよう心がけています。』（中村院長）



セントラル琴似整骨院

〒063-0814
北海道札幌市西区琴似4条1-1-1 コルテナ1
(セントラルウェルネスクラブ琴似内)
tel & fax : 011-615-5600
<http://www.bynext.jp/>

誘導していくのが院長の役目。それには「厳しさ」と「思いやり」が必要。』若き院長の視界は一点の曇りも無いようだ。
セントラル琴似整骨院を含め、北海道、東京にてクラブイン整骨院17院の他、エステなど計20店舗を統括する、あいらぼ整骨院グループ事業統括の千代聰美氏にお話を伺った。『数年前までは他の請求団体と契約してきましたが、ここ数年はメディックスです。入会条件と審査の厳しさが私達の心を掴みました。』と正直な胸の内を話していただいた。『多店舗展開の肝はなんと言つても資金繰りです。ここまで厳しい審査をする会社ならば、立替払い会社自体の資金ショートの可能性は低いと感じました。また、（物件周辺の）人口動態調査サービスも入会の鍵となっています。出店地域の市場調査と効率的な資金繰りは不可欠だと考えていますので、そうしたサービスを提供していただけるメディックスとお付き合いするメリツトは非常に大きいと考えています。』

詳細を本誌面で紹介することはできないが、同グループでは次の事業展開を計画中だという。本誌が発売される頃にはあいらぼグループの、新たな挑戦が始まつているに違いない。